

# 仕様書

1. 修繕件名 クリーンスパ市川源泉配管盛替修繕
2. 修繕場所 市川市上妙典1554番地 クリーンスパ市川
3. 修繕概要 クリーンスパ市川において、源泉配管が経年により配管内の詰まりが進行しているため配管を更新するもの
4. 修繕期間 令和8年4月24日 から 令和8年5月22日まで

## 5. 修繕内容

(1)本修繕における修繕内容は、次のとおりとする。

- 1)配管アイソメ図 別紙参照
- 2)施工内容

名称	摘要	数量
ピット内配管	50A、HIVP 管	HIVP:66m
ピット外配管 (機械室)	50A、HIVP 管・HTVP 管	HIVP:19.04m HTVP:3.1m
配管支持材	SS400、どぶめつき仕上げ (Uバンド・ボルト・ナット共)	6組
ダイヤフラム弁	PVC 製、50A JIS10KF 接続	2台
発生材処分	マニフェスト提出	一式
その他	雑材消耗品等	一式

## 6. 適応法令及び規格

労働安全衛生法、労働安全衛生法施行令、労働安全衛生規則、日本産業規格その他関係法令及び規格を遵守すること。

## 7. 留意事項

- (1) 修繕に際しては、安全に留意し十分な危険防止処置を施し無事故・無災害に努めること。
- (2) 発生材及び産業廃棄物は受注者が責任をもって適正に処理するものとし、産業廃棄物管理票（マニフェスト伝票）を発行した場合にはD票（写し）の提出までをもって処分完了の証明とすることができる。（E票も提出すること）。
- (3) 修繕にあたり漏水が無いことを、通水運転を行い確認すること。
- (4) 新設配管に対して振れやたわみが生じないように支持材を設けること。

## 8. 提出書類

- (1) 着手届
- (2) 報告書（作業写真含む）
- (3) 完了届
- (4) その他

## 9. 一般事項

- (1) 全ての作業は、本仕様書によって実施するものとする。
- (2) 本修繕に係る者は、熟練した技術者でなければならない。
- (3) 本修繕に使用する全ての機材及び消耗品は、受注者の負担とする。
- (4) 敷地内は全面禁煙であり、駐車車両内であっても禁煙してはならない。

## 10. 施工条件

- (1) 作業日及び作業時間は、クリーンスパ市川の連続休館日（5/11（月）～5/15（金））とすること。
- (2) 本修繕を行うために必要な資材置場・作業所等は、無償貸与とする。ただし、場所・移動・期間等については市監督職員と協議し決定する。
- (3) 修繕内容に変更が生じる場合には、事前に市監督職員と協議し実施すること。
- (4) 修繕に起因して不具合が発生した場合には、作業をすみやかに中止し市監督職員に報告すると共に受注者の責任において復旧すること。
- (5) 仕様書、契約書等に明記されていない事項については、市監督職員と協議し決定する。
- (6) 修繕にあたり、一時的に装置の機能を停止する場合は、事前に市監督職員と協議し決定する。

## 11. 写真

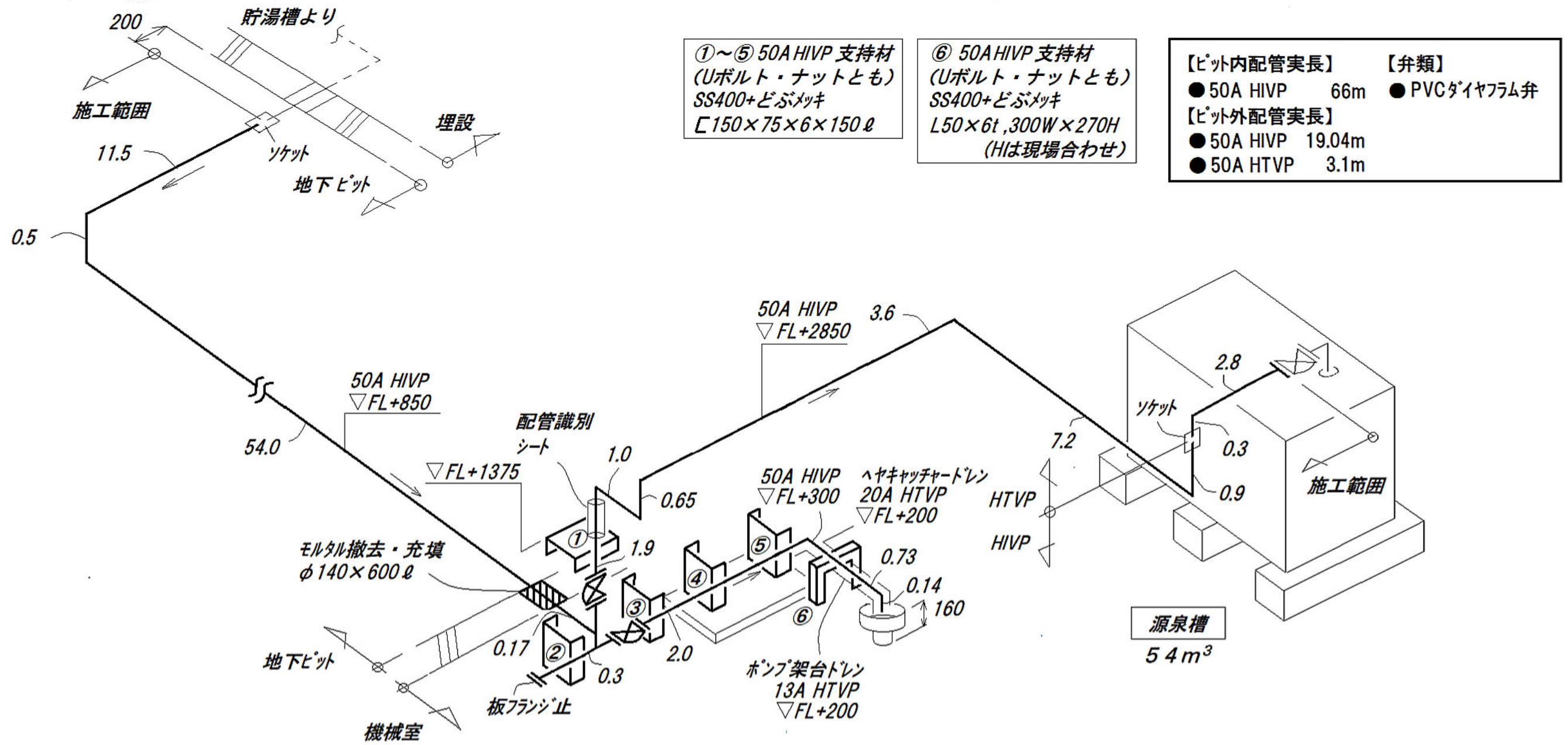
修繕に際して施工前・施工中・施工後の写真を撮影し、報告書と共に提出すること。写真は不可視部分を撮影するものとし、修繕が適切であることを証明できるものとする。また、監督職員による納品検査等の写真も撮影すること。

## 12. 検査

施工期間内に完成届と共に全ての書類が提出された日から10日以内に完了検査を受けなければならない。（指摘事項がある場合は速やかに対応すること）

### 13. 保証

検査終了後、契約内容不適合にかかる担保期間において請負者の製作、据付けに起因する不具合が生じた場合は、速やかに無償で修理または取替えを行わなければならない。



注記)

1. 本修繕は、地下ピット及び機械室内の源泉配管の盛替えを行うものである。
2. 保温を除き、作業はクリーンスパ市川の休館日（毎月第一、第三火曜日、等）を利用し段階的に進めること。
3. 地下ピット進入時は、酸素濃度計を用いて、有効酸素濃度が18%以上であることを確認するとともに給気ファン、排気ファン等を用いたプッシュプル換気を行うこと。
4. 作業期間において、盛替え完了箇所と既設残置配管はソケットを用いて接着の上、仮復旧するものとし、接続各所に漏洩が無いことを通水運転にて都度確認すること。
5. 既設配管支持材は既設（SUS304製吊ボルト・バンド）流用とするが、機械室内に新たに敷設する新設配管に対しては新たな支持材（SS400+どぶメッキ）を設置し、振れやたわみが生じないように考慮すること。
6. 配管識別シートは石井マーク「スーパーフィットシート」相当品とし、幅330mm×長さ220mmにて上向き矢印と文字「源泉引込」を表記し、両面テープ及び接着テープにて固定すること。
7. 指示無き配管材はすべて50A HIVEPを使用し、地下ピット内は施工性を考慮して材料を2割増とすること（点検口から定尺搬入が困難であるため）。
8. 既設配管切断時に発生する排水は、温泉排水槽へ排出すること。
9. 屋外埋設部から地下ピット内貫通箇所は、既設残置とし、壁面から+200mmの位置で切断し、ソケット接続を行うこと。
10. 地下ピットから機械室内貫通箇所は、既設モルタルを一旦取り除き、新設配管盛替後、新たに無収縮モルタルを充填すること。
11. 新規フランジ接続部はボルト・ナット（SUS304）、パッキン（EPDM）も取り替えること。
12. 床や壁に対する支持材の固定はSUS304製ケミカルアンカーによるものとする。
13. 撤去品の処分においては、産業廃棄物としてマニフェストを提出すること（電子マニフェストが望ましい）。

年度	令和8年度
件名	クリーンスパ市川 源泉配管盛替修繕
図面名	配管アイソメ図
発注者	市川市 クリーンセンター